

請願第10号

保育施設拡充を求める請願

紹介議員

常盤 ゆかり

飛鳥井 佳子

## 保育施設拡充を求める請願

### ・請願の要旨

市北部の開発に伴い予想される保育希望児童の増加に対し、市の責任で、保育の質を落とすことなく、早急に保育施設の拡充を！

- ・ 更なる保育施設の開設を、市の責任において強力的に推進してください。
- ・ 向日市の保育事業において、保育士資格者の従事を義務化にしてください。

### ・請願の理由

現在、市内北部のイオンモール周辺では市街地の開発が進み、マンションや住宅が立ち並ぶ人口3千人規模の街が新たにできようとしています。向日市では現時点でも既に「保育所定員<保育希望者」の状態であり、年度途中では30人以上の待機児童が発生しておりますが、今後続々とマンションが完成し人が増えてくると、保育を希望する子供がさらに増えるのは確実です。

先日、市はこの地域に定員120人規模の私立保育所の誘致を発表しました。来年の11月にも開所するとのこと。市も遅ればせながらもようやく動き出していただいたことは、基本的には喜ばしいことだと思います。しかしながら、本年度は市全体での保育所定員(公立・私立合わせて)1050人を約100人オーバーして子どもを受け入れて、ようやく4月年度当初の待機児童ゼロを維持している綱渡り状態であります。これに年度途中の待機児童も含めて考えれば、定員120人規模の園だけではこの定員オーバー分を解消しているに過ぎません。新たな保育希望者の増加という事態に対しては、これだけでは全然足りていないといえます。

更なる対応策を策定し、今すぐから取り組んでいかないと、あっという間に保育希望者が大幅に増え、保育を希望しても入所できない御家庭が続出する事態に陥ってしまいます。市の責任において、更なる保育施設の開設を強力的に推進していただきたく、請願いたします。

また、それにより保育の質が落ちてしまえば元も子もありません。今年度スタートした「子ども・子育て支援新制度」により新たに設けられた家庭的保育事業や10人以下の小規模保育事業において、向日市では市の研修修了者さえいれば、別に保育士がいなくてもよいことに条例で決まってしまうました。これでは保育中の事故等に対しても不安です。一方、近隣の京都市、長岡京市、宇治市などでは、たとえ家庭的保育や小規模保育でも保育士の配置が必要と条例制定されました。向日市においても、近隣の市町村同様、保育士の配置を義務化していただきたく、こちらも請願いたします。

平成27年11月30日

向日市議会議長

小野 哲 様